

ひきこもり家族自助会とやま大地の会(設立 2001 年 3 月)

振込先 北陸労働金庫 富山南支店 普通 3414428 とやま大地の会

♪♪ 例会のおしらせ ♪♪



例会は、ミニ講演やグループでの分かち合いの場です。また個別相談会(希望者)も行っています。
新型コロナ対策のため、実施について変更可能性もありますので、参加を希望される方は、
本会のホームページでの確認をお願いします。

09月16日(第3土曜日)	第271回例会	13:30	富山市安住町サンシップとやま 501号室
10月21日(第3土曜日)	第272回例会	13:30	富山市安住町サンシップとやま 701号室
11月18日(第3土曜日)	第273回例会	13:30	富山市安住町サンシップとやま 601号室
12月16日(第3土曜日)	第274回例会	13:30	富山市安住町サンシップとやま 701号室

会費 正会員の2021年度からの年会費は2,000円。例会参加費無料。(振込料は各自負担です。)
非会員の方の、2021年度からの例会参加費200円です。

サンシップでは駐車券を2階事務所にし、「大地の会」とおっしゃってください。無料になります。

サンフォルテでは駐車券を1階受付にし、「大地の会」とおっしゃってください。1時間無料になります。

◎富山県ひきこもり地域支援センター、最寄りの厚生センター、保健所で相談をしましょう。適切な支援に繋がるよう力を借ります。

◎支援センターに希望すること、親に出来ることを常時募集しています。

◎ご相談があれば、大地の会のホームページからお問い合わせ下さい。

「とやま大地の会」のホームページですが、下記 URL で開設しています。ご覧ください。

<http://toyamadaichinokai.com/>



本会の各事業は、富山県、赤い羽根共同募金の助成を受けて実施しています。

♪ 8月例会報告 ♪

日 時：8月19(土) 13:30~15:50 サンシップとやま 701号室

参加者：25名(内体験者5名)のご参加がありました。

例会が始まる前には、ハーモニカ演奏にあわせ、『浜辺の歌』『夕焼け小焼け』『昴』を口ずさみました。

I 諸連絡

- ・令和5年度ひきこもりサポーター養成研修のお知らせ (主催：県心の健康センター)
R5.10.17(火) 13:30~16:00 富山保健所2階健康教育室 申込みは各自で行って下さい。
- ・令和5年度 富山市ひきこもりサポート事業 (主催：富山市)
R5.9.25(月) 14:00~15:30 富山保健所2階健康教育室 申込みは各自で行って下さい。
内容：講演「小さなカフェから始まった 一居場所活動と制度外の就労支援」
講師 (一社) Ponte とやま 理事 加藤愛理子 氏

II ミニ講演

オープニングに演奏 西見幸雄さん(福井市)によるホルン演奏がからありました。

曲は、「かぐや姫の物語より『いのちの記憶』」、「みあげてごらん夜の星を」でした。

ハーモニカ演奏に続いて、ホルン演奏、お二人の演奏を聴きながら「サマーコンサート」のようで、素晴らしい音色に、「猛暑の夏の疲れが癒される」ことを実感しました。

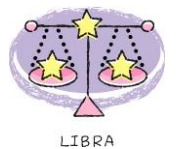
中嶋さん・西見さん（ともに福井市）によるミニ講演と活動紹介

ミニ講演 中嶋良三さん（やよい会代表）

中嶋良三さんは、1988年に「やよい会（学校へ行けない子を持つ親の会）」、「福井登校拒否を考える会（やよい会員と教育・医療・カウンセラー・司法・報道機関の記者などで構成）」を中心になって立ち上げ、35年余りの長きにわたり活動を継続されています。

約60分間、『福井の親の会 35年の歩み』のテーマで講演していただきました。お話は、【出会った人々】、【子等から学んだ事】、【拒否とは何か】の3つの柱からなります。【出会った人々】では、遠藤豊吉さん、奥地圭子さん、小林剛さん（福井大学教授）、内田良子さん等を挙げられました。

講演内容の詳細は省きますが、下記の「Ⅲ 講師の方との感想の分かち合い」及び感想文を参照していただきたいと思います。



活動紹介 西見幸雄さん（こころのサポート事務局代表）

西見さんは、「やよい会」に出会って25年、いただいた名刺には、“ひきこもりの当事者をサポートする活動、周りの方々や社会への理解を高める為の支援活動を精力的にやっています”とあり、これまでに150人以上の方のサポートをされたそうです。

Ⅲ 講演後の質疑&感想交流・から

- ・子どもの育成について、ある記事に、「欧州では国を挙げて行政で行っているのに、日本では家族に任せている。その事がひきこもりを生み、改善されない原因」と述べられていました。私は、今の日本の生活形態では、家族・親がやっていることで良いと思っています。
⇒ 親が命がけにならないとダメ、日本の行政はやれない。親は心配し苦勞もする。親は逃げないことで幸せがやって来る。そして後になって苦勞しておいて良かったとなります。
- ・今日、先生のお話を聴き、新たな発見がありました。もっと前に聴いておきたかった。私（母）は子に対し全力投球したつもりですが、他に何にすぎたら良いか？
⇒ 仲間です。私は自分の愛する仲間が出来るように、“親の会・やよい会”をやってきています。そこで先輩達がやって来たことを聴き、ホッと安心出来ます。
- ・私（母）は自分自身に自信がない状態で生き、周りの方々の視線を気にしながら、いろんなことをやってきました。息子も良くなってきて、数年前から自立に向けて動きました。母としての自分の気持ちを大切に、子の居場所をどうやって育んだら良いかと考えています。
- ・子は人間関係で悩んでいます。「自分は気を使い過ぎで大変」だと言います。
⇒ 私は近所の人と喋れない。飲み会でも喋れなかった。しかし親の会をやっているうちに喋れるようになりました。仲間の水の中に身を置くことでしゃべれるのでした。
* 後日、感想を手紙で寄せていただいた方もありました。

IV その他

- 1 例会では、なかなか十分に自分の話が出来ない。言い足りないことなど日常のあゆみなど体験発表を試みませんか？約 20 分間程度を予定しています。
- 2 投稿欄について
会員の皆様から、“ひきこもりの理解”に関する本の紹介や講演の感想等、募集しています。

富山県ひきこもり地域支援センター からのお知らせ

相談時間：月曜日～金曜日 8:30～12:00、13:00～17:00（要予約）

グループ相談を実施しています。

- ・ 本人グループ 毎週火曜日 10:00～12:00
- ・ 親グループ 毎月第2木曜日 14:00～16:00

まずはお電話でご相談ください。電話：076-428-0616

場所：富山県心の健康センター内 〒939-8222 富山市蜷川 459-1

V 高岡つくしの会より（2003年設立）

[9、10、11月の予定]

月例会：(日時) 9月10日(日) 13:30～

10月15日(日) 13:00～

11月12日(日) 13:00～

(会場) 高岡市立博労公民館

おとぎの森定例会：日時 9月13日(水)、23日(土)14:00～16:00、

10月11日(水)、28日(土)14:00～16:00

11月8日(水)、25日(土)14:00～16:00

(会場) おとぎの森ふれあい館 *部屋は玄関ポーチに表示



VI 書籍・論文の紹介 『日本における成人期への移行モデルと若者政策 一家族と仕事の変容から一』

宮本みち子 2016.12

講演の後の質疑&感想交流で、国の若者政策についての意見交換もありました。これに関連した論文を一つご紹介します。

社会学者の宮本みち子先生（放送大学）が上記の論文中、(3)“成人期への移行”に対する社会政策で、次のように指摘しています。「・・若者の自立を担保する社会保障制度は極めて弱体である。日本の社会保障制度が家族体制にもとづく制度枠組みを前提とし、『若者』を社会保障における固有の対象（主体）として問題にしてこなかったことに起因している。・・若者の移行を支援する社会政策は教育・福祉・労働・保健医療その他で構成される総合政策でなければならない。・・それと同時に雇用政策だけでは救済されない複合的リスクを抱えた若者を対象とする能動的福祉政策が必要である。・・（以下省略）」と指摘しています。